

OpenText ECMソリューションで 従業員の生産性を革新



OpenText ECM ソリューションで 従業員の生産性を革新

OpenText™ Content Suite は、企業による統制を犠牲にすることなく、今日のナレッジワーカーが希望する様々な方法に合わせ、情報を共有・コラボレーションするためのツールと快適な業務体験を提供します。

デジタル化された職場環境により、従業員が思いどおりにパフォーマンスと生産性を向上できるこれまでにない機会が提供されている一方で、地域や業界ごとのルールや規制に対する監視の強化が求められています。こうした対応はどのように進めればよいのでしょうか。先進的な企業においては組織内の ECM の役割を見直すことで、従業員の生産性と競争力が高められることに気が始めています。

情報とその配信方法のデジタル化が進むとともに、ナレッジワーカーが職務を遂行する方法も、数十年前のデスクトップ PC の導入を凌ぐ規模で変化しています。多くの組織は、デジタル化の進展に起因する変化に追い付くのに苦慮しています。

- ・ 膨大な情報にモバイルデバイスで即座にアクセスし、同様の方法で仕事ができることを期待する、デジタルネイティブ世代が登場したこと
- ・ インターネットのコンシューマライゼーションに伴い、テクノロジーの使い勝手や情報共有は、簡単で、直感的に、意識せずに行えるべきであるという認識が広く形成されたこと
- ・ 異なるソースからの構造化/非構造化情報が急増したため、適切な情報に適切な人々がアクセス・使用した場合に大きな価値がもたらされるという環境が生まれたこと

デジタル革命に直面している組織は、従業員や事業部門自体が個別の取組を実行する前に、情報を作成、共有、管理するための新たな方法を提供しなければならないというプレッシャーにさらされています。

概要

新世代のナレッジワーカーは、モバイルかつ俊敏で、即時応答な環境に慣れています。そうした人々は、イノベーション、創造性、進歩に役立つビジネスコンテンツを作成・共有し、それに基づいてコラボレーションを行う方法を求めています。

先進的な組織は、組織内で利用されている ECM の役割を見直すことにより、今日のナレッジワーカーが自身のワークスタイルに適した方法で優れた仕事を成し遂げることを可能にしています。OpenText™ Content Suite を使用することで、ファイアウォールの両側のガバナンスとコンプライアンスを犠牲にすることなく、個々の従業員が生み出すコンテンツを最適に管理する方法をユーザー自身が定義できます。あらゆるデバイスから、いつでもどこからでもスムーズにアクセスできるため、ユーザーはコラボレーションを向上させながら、イノベーションをもたらす活動に取り組むことができるのです。

デジタル企業での従業員ひとり一人の生産性

個人の生産性向上は、企業への最大の価値の貢献であり、従業員が作成・共有し、それに基づいてコラボレーションを行う電子メール、ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーションのすべてにイノベーション、創造性、チームワークの形で表れます。

しかしながら、プライベートで使用する同期・共有アプリケーションによって生じた期待によって、職場での従業員の生産性に対するアプローチは一変しています。生産性向上のためにこれまで企業が提供してきたツールや方法では、もはや期待に応えられないといってもよいでしょう。いえ、より正確に言えば、「企業が承認した」リソースでは、期待に応えることはできません。

新世代のナレッジワーカーの生産性は、組織にとってのジレンマとなっています。一方では、今日の従業員は、業務の中で大量の情報を生成し、セキュリティとコンプライアンス、そしてプライバシーをリスクにさらし、常に訴訟での開示手続きの標的となっています。他方では、そうした情報のほとんどが一過性・一時的なものであるため、「重量当たり」の価値は最も低くなっています。リスクを管理しながら価値を最大化することが、進歩と競争力の強化には不可欠ですが、組織は必要な統制を行いながら生産性を効率的に高める方法を提供することに關して大きく後れを取っています。

前世代の ECM が新世代のナレッジワーカーの生産性向上の解決策にならない理由

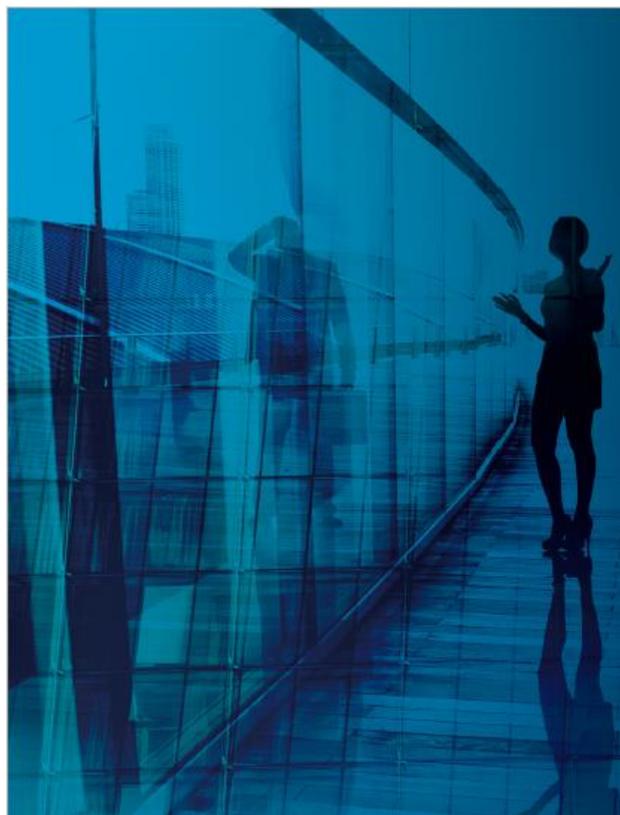
前世代の ECM プラットフォームは、組織がルールを守っている限りは、企業情報の管理とガバナンスに優れていました。複雑な分類やメタデータのガイドライン、労働集約型の手作業によるファイリングプロトコル、厳格な許可ルール、非効率的なアクセス手順に従うことで、組織は法的に正当な、信頼できる唯一の情報源を認識できていました。しかしそれは、必要なすべての情報をすぐに効率的に入手することに慣れた、器用で結果重視の従業員の好む生産性向上方法とは全く相容れないものです。

当然ながら、導入は難航し、包括的な情報リポジトリは認識されず、個人やチーム、さらには部門全体が、特異な命名規則、分離されたファイルサーバー、パブリックな共有アプリを使用して、「各自の」情報から価値を最適に引き出すために、独自の方法を構築していききました。

これまでは・・・

OpenText と先進的な導入企業の間には、組織内での ECM の役割についてブレークスルーする瞬間がありました。優秀な従業員の能力を十分に引き出すため、セキュアなインフラを介して情報にいつでもどこからでもアクセスできるようにするには、情報の集約、管理、統括、配信における ECM の従来の長所を見直し、増強することが求められることを認識していました。

ECM はもはや、コンテンツを長期保管のためにしまい込むための、一方向で行き止まりのリポジトリとみなすべきではありません。新世代の ECM ソリューションは、ダイナミックかつ統合され、企業のさまざまなシステムと個人を結び付けるマルチレインの情報バックボーンとして、価値を提供しています。



従業員の生産性を向上させるためには、ECM の機能開発が必要でした。シームレスでシンプルなファイルへのアクセス・共有機能は、膨大な情報を集約し、相互に関連付け、統合された ECM プラットフォームに組み込まれるべきです。自動分類などの新たなイノベーションにより、ECM は、過去の ECM に実装されていた面倒な手作業によるファイリングとスペルミスを生むタグ付けから従業員を解放しています。ファイアウォールの両側で生じる非構造化情報は、今では許可に基づいて簡単にソートされ、クエリーを実行し、アクセスできる構造化データへと変換できるようになりました。

さらに、ECM をビジネスを推進するプロセスやシステムに拡張することで、そこで生成されたデータに対して一貫した統制とガバナンスを適用することを可能にしています。インベントリレポートからサービス契約、さらには顧客対応までのすべてを接続、収集、提示して、従業員に案件の進捗や全体像を知らせることができるようになります。

さらに、ECM が舞台裏の活動を総合的に統制しているため、パーソナライズされた方法で情報を扱うことが、はるかに容易になっています。新しい ECM プラットフォームは、デジタルネイティブ世代がテクノロジーに期待するのと同様のシンプルで直感的なユーザーエクスペリエンスを提供します。ソーシャルフィードからコラボレーションスレッド、さらにはタスクリストまで、テーマに関連するすべてのものを、各ユーザーの役割とデバイスに基づいてカスタマイズし、分かりやすい形式で提示することが可能になっています。

OpenText™ Content Suite

OpenText Content Suite は、企業が必要とする、プロセスの生産性、個人の生産性、統制の基盤をオンプレミスまたはクラウドで提供する唯一の ECM ソリューションです。人をテクノロジーよりも優先させることで、エンドユーザーと ECM ソリューションとの関係を再定義します。

OpenText Content Suite には以下の機能が含まれます。

- **新たなスマート UI:** 簡素化された応答性の高い UI、役割ごとに最適化された画面、最新ドキュメントへのアクセスを始めとした多数の機能を提供する OpenText Content Suite と OpenText Extended ECM の新しい直感的なユーザーインターフェイスにより、生産性を向上させます。他のビジネスアプリケーションとのシームレスな拡張を実現し、導入障壁を解消します。
- **統合されたソーシャル:** コンテンツと直接インラインでソーシャルでのやり取りができるため、アクティビティフィード、インラインコメント、ユーザープロフィール管理によって、コラボレーションしやすくなるとともに、検索機能が強化されます。
- **デスクトップの統合と自動化:** デスクトップアプリケーション、Office 365™アプリケーションから OpenText Content Suite に直接アクセスできます。1 回クリックするだけで、OpenText Content Server に電子メールメッセージをコピーまたは移動できるため、ユーザーが電子メールをファイリングする時間が短縮されるとともに、レコードのガバナンスポリシーを順守できます。
- **統合されたファイルアクセス、同期、共有:** スムーズな共有機能とエンタープライズグレードのセキュリティ・管理機能を備え、あらゆるデバイスからファイルにアクセスできます。OpenText Tempo Box で OpenText Content Suite を拡張したり、ネイティブのクラウドアプリケーションである OpenText Core を使用して、OpenText Content Suite を統合することができます。